



Title	意匠学会会報 No.68/平成23～25年度・意匠学会委員 選挙結果/研究例会/一般会務報告
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2011, 57, p. 158-160
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53414
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成23～25年度・意匠学会委員選挙結果

平成23年3月10日消印有効の意匠学会役員選挙に関しまして以下のようにご報告申し上げます。

開票は3月15日、神戸芸術工科大学で行いました。

1. 選挙封筒返送数 104通
2. 票数 102票（残り2票は無効、白紙一枚、投票用紙以外での投票）

投票結果

1. 藤田 治彦 51
2. 藪 亨 37
3. 並木 誠士 17
4. 渡辺 眞 16
5. 島先 京一 15
6. 谷本 尚子 15
7. 佐藤 敬二 13
8. 塚田 章 13
9. 横川 公子 10
10. 今井 美樹 9

10人委員会は4月9日、京都精華大学で開かれました。

研究例会

第205回研究例会

平成23年2月12日（土）
於 京都精華大学

1. 蔵田周忠を中心としてみる東京高等工芸学校
亀野 晶子（京都工芸繊維大学大学院）
2. 抽象絵画と近代照明 — S・ギーディオン、

L・モホリ＝ナギ、G・ケペッシュ、R・バンハム、W・シヴェルプシュを手掛りに

秋丸 知貴

第206回研究例会

平成23年5月14日（土）
於 成安造形大学

1. エチオピア・アムハラ織布
板垣 順平（大阪芸術大学）
2. ヴフテマスのデザイン教育(1)
— もう一つの「労働者クラブ」—
谷本 尚子（大阪人間科学大学）

一般会務報告

平成22年度 第4回役員会 議事録

日時：平成22年11月13日（土曜日）

12時45分より

場所：芦屋大学 大阪キャンパス

出席者：梅宮弘光、太田喬夫、伊東徹夫、伊集院敬行、小宮容一、島先京一、竹内幸絵、谷本尚子、藤田治彦、三木順子、藪亨、横川公子、山口良臣、渡邊眞

[審議事項]

議題1. 前回議事録の承認
承認された。

議題2. 2月例会について

会場：京都精華大学

日時：2月12日（土曜日）

発表候補者：

亀野 晶子（京都工芸繊維大学）「蔵田

周忠を中心としてみる東京高等工芸学校」

秋丸 知貴（日図デザイン博物館）「抽象絵画と近代照明 — S・ギーディオン, L・モホリ＝ナギ, G・ケベッシュ, R・バンハム, W・シヴェルブシュを手掛りに」

（京都精華大学の侯さんは辞退。）

議題3. 5月例会について

会場：成安造形大学

日時：2011年5月14日（土曜日）

発表候補者：

奈良 葉子

議題4. 第53回大会について

会場候補：国立民族学博物館

日時：7月16日（土）、17日（日）

発表可能な人数。展示会場の様子。上羽会員に連絡をとる。

ホームページに予告として日時と場所、発表希望の公募開始だけは掲載したい。

「研究発表は質疑を含め30分。パネル発表は作品賞の対象となりますので、ふるって御応募ください。」

議題5. 「デザイン理論」の表紙デザインについて

成安造形大学の島先会員が学内コンペを行い、作成する申出をされた。しかし、成安だけでなく、グラフィック専攻コースのある大学でその可能性を検討し、各役員が声をかけ他の組織からも提案を募る事となった。

議題6. 学会HPについて

次回に審議を延期した。

議題7. 選挙管理委員会のメンバーの決定

選挙管理委員会委員長は橋本英治会員にお願いする事が決定した。

議題8. 入退会希望者の承認

承認された。

議題9. その他

作品賞についての提案

奨励賞の設定をしたい。作品賞を盛り上げる目的で提案した。

意匠学会作品賞自体が奨励賞の意味合いが強いので、奨励賞は不適切ではないか。

パネル発表の活性化の為には他の手段を講じるべきだ。

該当なしとし、作品賞の奨励賞は無くなった。

[報告事項]

1. 各種委員会報告

編集委員会：現在制作中の56号は今年中に印刷。57号は近く出版される予定。

学会賞委員会：論文賞は55、56号の論文を対象に58号で発表。

広報委員会：56号に掲載する会報を作成中。

平成22年度 第5回役員会 議事録

日時：平成23年2月12日（土曜日）

12時30分より

場所：京都精華大学 302会議室

出席者：伊集院敬行、伊東徹夫、今井美樹、梅宮弘光、太田喬夫、面矢慎介、佐藤敬二、佐藤博一、島先京一、並木誠士、藤田治彦、三木順子、藪亨、山口良臣、吉村典子

[審議事項]

議題1. 前回議事録の承認

承認された。

議題2. 入会希望者の承認

承認された。

議題3. 5月例会について

会場：成安造形大学

日時：平成23年5月14日（土）

発表候補者：

奈良 葉子（京都工芸繊維大学大学院）
「洛中洛外図における職人尽の表現につ

いて——愛媛県立美術館本を中心に」
残り一人は事務局と当番校で相談の上、
決定する。

議題4. 9月例会について

会場：大阪工業大学
日時：平成23年9月3日または10日（土）
発表候補：未定

議題5. 第53回大会について（案）

会場：国立民族学博物館
日時：7月16日（土）、17日（日）
発表候補：
①吉野たか美（愛知産業大学大学院）
「共感的アプローチによる色の伝達方法の提案（仮題）」
次回役員会（5/14）までにタイムスケジュールと候補者を確定する。

シンポジウム：

テーマ「手工芸とデザイン——伝統的形態と現代的展開」

発表者：

上羽 陽子（国立民族学博物館）（兼総
合司会）
オセアニア展示関連（民博職員）（予定）
アメリカ展示関連（民博職員）（予定）、
畑智子（京都文化博物館）（予定）

エクスカーション：国立民族学博物館

オセアニア展示・アメリカ展示

懇親会：レストラン みんなく

議題6. 『デザイン理論』表紙デザインについて

58号（9月発行予定）から実施する表紙デザインのため、選挙改組後の新役員会（4月）でデザイン案を追加募集し、次回例会（5/14）に各委員より寄せられた案から決定する。

デザイナー選定の条件として、①次期6号のシリーズ性が保てるデザインであること、
②印刷業者と直接やりとりできること、が前提である。

議題7. HPについて

現行の学協会情報発信サービスが2012年3月末で業務を終了するため、次期広報委員会で新規の各種ホスティングサービスに速やかに移行すること。

〔参考〕初期費用・ドメイン使用料・維持管理費で年間経費は約6万円程度

議題8. 藝術学関連学会連合シンポジウムについて

会場：大阪大学豊中キャンパス

日時：6月18日（土）

テーマ：アートとデザイン——その分離と融合

上記内容に適当なパネリスト1名を、藤田会長および事務局で決定・依頼する。

〔報告事項〕

1. 各種委員会報告

編集委員会：

1) 『デザイン理論』発行予定

56号は3月末に、57号は4月末に発行予定であり、今期の編集委員による発行は終了する。58号（9月発行予定）より、次期編集委員に交替し、原稿送付先等の変更をおこなう。

2) 編集体制について

年2回の発行が速やかにおこなわれるよう、新役員会時に引き継ぐこと。

投稿者に大会や研究例会での発表を義務づけるなどの配慮も必要か。

編集委員では、原稿受取が困難なため、大会・例会の発表要旨の編集等は開催校が担当する。

2. 役員改選に関する選挙管理委員会からの経過報告

現在、名簿の確認を進行中、2月中に投票用紙を会員に発送、3月に開票予定。

会報担当連絡先

〒610-1197

京都市立芸術大学美術学部第3研究室群

伊東徹夫 宛

TEL 075-334-2255 FAX 075-334-2255